

第7回 総会
報告事項

令和4年度事業計画書

(事業計画・収支予算書)

自 令和4年 4月 1日
至 令和5年 3月 31日

令和4年3月31日

一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン協議会

1. 主要事項

(1) 協議会運営

- ① 通常総会を6月初旬に開催、定期の理事会を総会前（書面）、及び総会後の11月と令和5年3月に開催する。また、認証規格および関連文書の改正等のため、臨時の総会、理事会を開催する。
- ② 会員の募集活動により会費収入を増やし、また、認証件数を増やすことでロゴマーク使用許諾料収入を確保し、更なる財務基盤の安定化に努める。
- ③ アドバイザリーボードを拡充し、協議会の活動の公平性と透明性の確保に資するとともに内外に発信する。
- ④ 認証機関および認定機関と連携し、スキーム全体の安定化と透明性を促進する。また、認証機関の複数化を実現させ、認証件数の増加、制度運営の更なる健全化、顧客視点でのサービスレベルの強化を図る。

(2) 認証規格開発事業

規格やガイドラインの国際標準化を維持するとともに、国内の水産業や流通加工業の実情に合わせるため、引き続き専門部会と連携し、漁業、養殖およびC o Cの規格や審査基準の改良を図る。

特に養殖認証については、G S S I ベンチマークツール Ver. 2.0 に合わせるために、認証規格および諸規程の改正手続きを進める。飼餌料の取り扱いが重要な変更点となるため、養殖事業者向け説明会を開催し理解を得る。専門部会、規格委員会、パブリックコメント、理事会・総会を経て7月頃の発効を目指す。新規格への移行は事業者の準備次第ではあるが、最長3年間のうちに完了させる。

配合飼料、魚粉・魚油の認証制度について、業界団体や専門家の協力を受け認証規格を開発し、認証機関・認定機関など認証制度の枠組み作りを進める。

(3) 水産エコラベル取得促進事業

・審査員向け研修会の開催

審査員向け研修会を開催し、新規審査員の確保や既存審査員のスキルアップを行い、審査申請数の増加への対応を図る。新規審査員向け研修会は1回（令和4年10月）、既存審査員向けCPD研修会は2回（令和4年7月、令和5年2月）の開催を予定している。

前年度に2回オンライン開催したが、大きな支障はなかったため、今期も

オンラインを積極的に活用していき受講者数増加に資する。合わせて、審査員等との研修会議、専門委員会を通じて、テキストの改訂、研修内容の充実化を図り、審査員の技量、審査報告書の標準化を図る。

- ・ 認証取得希望事業者向けコンサルティングの実施

認証取得希望事業者に対して委託会社によるコンサルティングを実施し、認証取得にかかる負担を軽減し、認証件数の増加を図る。本件はコンサルティング実施者が直接管理する事業であるが、MEL協議会は事業者選定や進捗管理等運営面でサポートする。

(4) 水産エコラベル普及・認知促進事業

- ・ 認証取得者の持続可能性に配慮した取組の紹介

シンポジウム、ワークショップまたMELの専用PRサイトを通じて、消費者をはじめ関係者にMELの認知度の更なる向上及び理解を促進する。また、認証事業者への取材により、認証取得のきっかけ、準備、メリット、展望等をまとめたコンテンツを作成、拡充する。また、PRポスター、ボードを製作し、量販店の水産売場や飲食店に設置し消費者への理解促進に資する。

ロゴマーク入りのタグ（ラウンド用）、カートンシールやPPバンド等、物流資材・備品等の製作を支援し、B2Bや市場流通での認知を向上させる。

ウェビナー（オンライン形式のセミナー）を定期的で開催する。MELからの情報発信、認証取得手順、（テーマを設けて）有識者の登壇、あるいは海外向けの情報発信等を行う。今期は上下期で最低2回の開催を実現したい。

- ・ SNSの活用

昨年に引き続き、第2期のMELアンバサダーを募集し、インスタグラムを中心に定期的にMELの情報を発信してもらい、消費者の認知向上を促進させる。コンテンツは、MEL認証のコンセプトの他、MELのロゴマーク付き商品の紹介、認証水産物を使ったレシピ提案、認証事業者の取組み等を紹介する。

以下について、（一社）大日本水産会と共同で実施する。

- ・ イベント（説明会、展示会・見本会等）の開催

イベント開催に合わせて、あるいは直接生産地や事業所に出向き、もしくはオ

オンライン形式にて、MEL認証取得を視野に入れている事業者向けの説明会を行い認証件数の増加に資する。また、国内外における水産エコラベル認知度向上と認証水産物の消費拡大に繋げるため、東京、大阪開催のシーフードショー、スーパーマーケットショー等へ出展する。

(5) 海外への普及活動

以下について、(一社)大日本水産会と共同で実施する。

・国際機関等への働きかけ

MELスキームの国際標準化を維持していくとともに、国際社会での地位を確固たるものにすべく、国際機関、海外漁業団体、他スキームとの接点作りを強化する。特にMELと同じローカルスキームで共通点が多いアラスカRFM、アイランドRFM等と協力体制の構築を務めるとともに、COC認証の相互承認化を進めていく。アジアではSEAFDECとの連携を通じて、東南アジアでのMEL普及を行う。

・海外向け情報発信とビジネス機会の創出

海外での展示会に出展し、MEL認証制度、認証水産物のPR、営業活動を行う。また、国産鮮魚や冷凍水産物を扱う輸出商社あるいはアジア外食企業の調達部門との商談を進める。また、ウェビナーを開催し、海外向けの情報発信、MEL認証水産物の紹介を行う。

(6) GSSI関係

GSSIベンチマークツール Ver. 2.0 への申請手続きを進め、国際承認の維持を確実にする。養殖認証については新規格で申請とする。スケジュールとしては、年7月申請書類提出、8～10月書類審査、9～12月現地審査で予定されているが、審査終了までは1年程度かかるのでは見込む。

GSSIスキームオーナー会議に参加し、ベンチマークの諸課題、海外マーケティング、アジア代表としての声、小規模漁業政策等、積極的に発信していく。

また、海外のステークホルダーに対しての情報発信を目的として、審査報告書概要の英語版をホームページ上で掲載する。

(7) 広報・宣伝活動

以下により、本制度の普及、浸透に努める。

- ① タイムリーな情報、画像や動画などの掲載によるHPの更なる充実
- ② 機関誌（ME Lニュース）の発行と業界紙誌、団体機関誌等への寄稿
- ③ 各種イベントへの出展、ウェビナーの定期開催、魚食普及活動との連携、宣伝物（パンフレット、ノベルティ）の配布
- ④ SNSを活用した広報、宣伝活動の強化

国際標準化されたスキームとしてPRし、効率的な広報・宣伝等を通じて、新規認証事業者の増加や既存の認証事業者による更新に資する取り組みを加速する。

収支予算書

令和4年 4月 1日から令和5年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取雑収入	18,000,000	15,000,000	3,000,000
受取補助金	7,000,000	6,000,000	1,000,000
受取補助金	18,000,000	25,006,000	△ 7,006,000
経常収益計	43,000,000	46,006,000	△ 3,006,000
(2) 経常費用			0
事業費	18,000,000	25,006,000	△ 7,006,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	7,641,000	9,523,400	△ 1,882,400
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	849,000	1,680,600	△ 831,600
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	80,000	240,000	△ 160,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	534,000	468,000	66,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	600,000	842,000	△ 242,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	778,000	1,166,000	△ 388,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	100,000	100,000	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	960,000	960,000	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	6,416,000	10,016,000	△ 3,600,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	42,000	10,000	32,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	22,460,000	18,860,000	3,600,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	9,000,000	7,000,000	2,000,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	2,000,000	1,450,000	550,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	500,000	500,000	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	1,500,000	1,500,000	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	900,000	800,000	100,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	50,000	50,000	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	50,000	50,000	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	600,000	600,000	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	300,000	500,000	△ 200,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	300,000	100,000	200,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	1,000,000	1,000,000	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	100,000	100,000	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	100,000	100,000	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	3,700,000	3,700,000	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	50,000	50,000	0
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	10,000	60,000	△ 50,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	2,000,000	1,000,000	1,000,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	200,000	100,000	100,000
給福会旅通シ消消費資広交印光賃諸租委雑減	100,000	200,000	△ 100,000
経常費用計	40,460,000	43,866,000	△ 3,406,000
評価損益等調整前当期経常増減額	2,540,000	2,140,000	400,000
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	2,540,000	2,140,000	400,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,540,000	2,140,000	400,000
一般正味財産期首残高	1,806,592	△ 265,052	2,071,644
一般正味財産期末残高	4,346,592	1,874,948	2,471,644
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	9,346,592	6,874,948	2,471,644

収支予算書(内訳表)

令和4年 4月 1日から令和5年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	一般会計	水産エコラベル 普及推進事業	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取雑	18,000,000		18,000,000
受取補助金	7,000,000		7,000,000
受取補助金		18,000,000	18,000,000
受取補助金			0
経常収益計	25,000,000	18,000,000	43,000,000
(2) 経常費用			
事業費	0	18,000,000	18,000,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	7,641,000	7,641,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	849,000	849,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	80,000	80,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	534,000	534,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	600,000	600,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	778,000	778,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	100,000	100,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	960,000	960,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	6,416,000	6,416,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	42,000	42,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	0	0	0
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	22,460,000	0	22,460,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	9,000,000	0	9,000,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	2,000,000	0	2,000,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	500,000	0	500,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	1,500,000	0	1,500,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	900,000	0	900,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	50,000	0	50,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	50,000	0	50,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	600,000	0	600,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	300,000	0	300,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	300,000	0	300,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	1,000,000	0	1,000,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	100,000	0	100,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	100,000	0	100,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	3,700,000	0	3,700,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	50,000	0	50,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	10,000	0	10,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	2,000,000	0	2,000,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	200,000	0	200,000
給福会旅通シ消資広交印光賃諸租委雑減	100,000	0	100,000
経常費用計	22,460,000	18,000,000	40,460,000
評価損益等調整前当期経常増減額	2,540,000	0	2,540,000
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	2,540,000	0	2,540,000
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,540,000	0	2,540,000
一般正味財産期首残高	△ 265,052	0	△ 265,052
一般正味財産期末残高	2,274,948	0	2,274,948
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	0	5,000,000
指定正味財産期末残高	5,000,000	0	5,000,000
III 正味財産期末残高	7,274,948	0	7,274,948